

ふくい社会福祉

10
No.363



温故知新 ～一途に社協道～



▲平成元年北陸初の開催となった『第1回ふくい車いすマラソン』



▲福祉協力校交換研修会で車いすの介助を学ぶ中学生



▲共同募金PRチームが福井マラソンに参加(H元年)



▲新たな地域福祉の拠点として福井市光陽に完成した福井県社会福祉センター(昭和55年12月)

福井県内の社協のあゆみ

- S55 「福井県ボランティア活動振興事業基本要綱」実施
「町村ボランティアセンター設置運営要項」設置
福井県社会福祉センター完成(県社協事務所移転)
- S56 福井県民生委員児童委員協議会設立
第1回市町村ボランティアセンター連絡協議会開催
「社協活動強化のための基本構想」まとまる
- S58 「福井県における社協活動の基本方針」まとまる
- S60 福井県中央心配ごと相談センター設置
福井県社会福祉情報センター設置
福井県ボランティア基金設立
- S62 ボランティア基金 愛称『ふくいハートピア基金』、
シンボルマーク決定
- S63 第1回車いすマラソン開催
福井県社会福祉施設経営者協議会設立
福井県高齢者総合相談センター開設

全国の流れ

- S55 全国ホームヘルパー協議会設立社協シンボル・マーク制定
第1回社会福祉協議会全国大会開催
- S56 国際障害者年
全国社会福祉施設経営者協議会設立
中央授産事業振興センター設置
- S57 市町村社会福祉協議会法制化実施
- S58 「福祉ボランティアのまちづくり事業」(ボランティア事業)開始
身体障害者団体連絡協議会設立
男女雇用機会均等法公布
- S61 身体障害者施設協議会設立
「長寿社会対策大綱」閣議決定
改定老人保健法公布
- S62 社会福祉士及び介護福祉士法公布
精神保健法公布
- S63 「長寿・福祉社会を実現するための基本的考え方と目標
について(福祉ビジョン)」発表
- H1 第1回全国ボランティア大会開催
第1回社会福祉トップセミナー開催
長寿社会開発センター発足
ゴールドプラン策定

第四話 躍動

昭和55年 現在の光陽2丁目
に福井県社会福祉センター
が完成、ここに県社協事務局
が移り、本県の地域福祉の活
動拠点として新たなスタート
を切った。

昭和58年には、社協関係者
の悲願でもあった、市町村社
会福祉協議会の法制化が実現
し、市町村社協が地域福祉推
進の中核的役割を担うものと
して位置づけられた。また、
これを機に地域福祉の推進で
地域住民の期待に応えられる
社協となるべく、同58年には
「社協活動強化のための基本
構想」を、昭和60年には「福
井県における社協活動の基本
方針」をまとめる。これによ
り県社協、市町村社協による
基盤強化(組織機構・事業推
進・財源確保)がすすみ、地
域住民を巻き込んだ事業の実
施や、自主財源確保に向けた
基金設立などが展開されるな
ど、社協の社会的評価の向上

《表紙について》
「温故知新」一途に社協道
来年度、県社協は創立60周年を迎
えます。今年度、県社協のあゆみを
振り返りながら、先人たちの地域福
祉への思いをしっかりと受け止め、
これからの地域福祉推進につなげ
ていきたいと考えています。

につながっていった。
また、昭和60年度からは、
すべての人が地域の人たちと
心のふれあいを保ちながら
「ともに生きる」心豊かな福
祉のまちづくりを旨とする「ボ
ランティア事業」、さらには
ボランティアの育成と活動の
振興を資金面で支えることを
目的とした「ボランティア基
金」を昭和62年度に設置した。
これにより、各市町村社協
のボランティアコーディネー
ターを中心に地域住民との協
同による活動が展開された結
果、平成元年に北陸初の「ふ
くい車いすマラソン」が開催
されることになる。



(1) 訓練・生活支援給付

(ハローワークを窓口)

これは、職業訓練を受講する人の訓練期間中の生活費等の給付です。支給額は、単身の場合、月額10万円、被扶養者のいる場合、月額12万円。

※希望する人は、さらに「訓練・生活支援資金融資」(貸付)を利用することができます。

(2) 住宅手当

(福祉事務所を窓口)

失業者であつて住居を喪失または喪失するおそれのある人が就職活動を安心して行うことができるようにするための賃貸住宅の家賃の手当(給付)です。

(3) 総合支援資金

(市町社会福祉協議会を窓口)

生活福祉資金貸付制度に創設された資金で、失業により日常生活全般に困難を抱えている人を支援するための生活支援費等の貸付です。資金の種類は次の3つです。

①生活支援費

生活再建までの間に必要な生活費用で、上限は月20万円の最長1年間

②住宅入居費

敷金・礼金等住宅の賃貸契約を結ぶために必要な費用

③一時生活再建費

債務整理等の生活再建に必要な一

時的な費用であつて、日常生活費で賄うことが困難であるもの

III 急増する総合支援資金

今回の新たなセーフティネット構築の目玉は、総合支援資金を創設したことにあります。ポイントは、前述したように、不況対策の一環として失業や減収による生活困窮の実態を反映したこと、非正規労働者が増え、派遣村のように失職と同時に住居を失うという時代背景を反映したこと、さらには、多重債務等の整理費用を対象とするなど現代的貧困にまつわる状況を反映したことが挙げられます。

また、生活福祉資金貸付制度そのものにおいては、貸付に際して確保することが必須要件であった連帯保証人を、確保できない場合でも貸付できるように要件緩和されました。このように、時代背景に対応した資金の創設と貸付要件の見直しが図られたことで、福井県においては、総合支援資金だけでも昨年の10月から約一年間で、すでに約200件の貸付実績となっており、今後もさらに増え続けることが予想されます。

IV 利用者が抱える深刻な生活課題

総合支援資金の利用者の多くは、単身の40〜50代の中高齢で、住居を持たず孤立しているという特徴があります。また、税金の滞納や多重債務を抱えているケースも少なくありません。

こうした深刻な生活課題を抱えた人に対して適切な相談支援、自立支援、償還の確保をするためには、実質的に窓口を担っている市町社会福祉協議会の相談体制の整備が急がれます。僅少な委託費の中で、事務局職員が兼務により対応しているのが実態となっています。

また、国の通知により、新たなセーフティネットとして適切に支援が行われるようハローワーク、福祉事務所、社会福祉協議会に加え、様々な関係機関で構成する「生活福祉・就業支援会議」がハローワーク単位に設置されました。これからは、この会議の構成メンバーが密接に連携し、適切な支援につなぐ機能が実質的に発揮できなければ、現在の深刻な生活課題への対応や解決は困難であると考えられます。

さらに、今回の措置は、総合支援資金を除いて特例の時限付となつています。この厳しい雇用環境の中、

時限付の施策で、どこまでの成果が期待できるのでしょうか。もつと構造的な問題を解決しなければ、本当の意味でのセーフティネットにはなりません。

V 総合支援資金の役割

社会福祉協議会は、地域福祉の推進を使命とした民間団体です。

地域福祉を推進するうえで、大切な視点は、低所得や障がい者、高齢者等、支援を必要とする人のニーズを満たすために様々な資源を用意することであり、その生活状況に合せた適切な方法を選択し、問題解決にあたることです。

その意味で、総合支援資金は、失業者の生活を守る大切な社会資源の一つとして有効に活用すべきものです。

貸付であるために、貸し倒れを恐れ、対象者を選択するようなことがあつてはならず、この感覚では現代の貧困事情には対応できません。

労働の先には、「生活」があり、「生活を営んでいる家族」がいます。社会福祉協議会はこのことを忘れず、常に地域福祉の視点を持って支援にあたるのが重要です。

10月1日～
12月31日

赤い羽根共同募金運動スタート！

福井のまちを良くするしくみ。

赤い羽根共同募金にご協力お願いします。

共同募金の意味

ひとり、ひとりの
やさしさが、
あなたの住む町を、
もっと、やさしく
してくれます。

○共同募金の意味と歴史

赤い羽根共同募金は、第2次世界大戦の1947年（昭和22年）にスタートしました。当初は戦後復興の一助として、戦争の打撃を受けた福祉施設を資金支援する役割を果たしてきました。そして60年以上たった今、社会が大きく変化するなかで、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を支援する仕組みとして、また、市民のやさしさや思いやりを届ける運動として実施しています。

○助成額を決めてから募金（寄付）を集めるしくみです。

共同募金は、地域ごとの使いみちや集める額を事前に定めて募金を行っています。これを「計画募金」と呼び、「助成計画」を明確にすることにより、市民の理解と協力を得やすくしています。

また、助成計画があるからこそ、一世帯当たりの目安額などを定めて募金を集めることができます。もっとも、寄付は自由意志に基づくものですから、目安額はあくまで目安にすぎません。（市町によってその額や方法に違いがあります）

目標額 **186,447,000円**

- 一般募金 138,927,000円
- 地域歳末たすけあい募金 34,520,000円
- NHK歳末たすけあい募金 13,000,000円

共同募金の助成

たすけあいの活動は、みなさんの寄附で支えられています。昨年、皆様から寄せられた寄付金は、178,105,017円にのびました。寄せられた寄付金は、高齢者の孤立・孤独をなくす活動、障害者スポーツの支援、DVで苦しむ人への支援場所の整備など、地域を良くするための活動に使われています。

皆様のあたたかいご協力ありがとうございました。

(H21の福井県の助成割合
～助成地域によって割合は違います～)

-  じぶんの町を良くする活動・・・52%
-  地域歳末たすけあい活動・・・22%
-  福井を良くする活動・・・19%
-  災害に備えた準備金・・・2%
-  NHK歳末たすけあい活動・・・5%

平成21年度 募金実績方法別割合(%)

戸別募金	56.7%
街頭募金	3.2%
法人募金	11.9%
学校募金	2.0%
職域募金	3.5%
イベント募金	1.4%
個人募金	10.2%
その他	11.1%

○赤い羽根は「じぶんの町を良くする」募金です。

共同募金の助成は、高齢者サロンや点訳ボランティアなど草の根のボランティア活動の費用から、障害者作業所の備品や施設の改修まで、さまざまな民間の地域福祉活動を支援しています。

また、集まった募金の約74%は、募金をいただいた地域で使われています。残りの26%は、みなさんの住んでいる市町を越えた広域的な課題を解決するための県域の活動に使われています。（地域によってその割合には違いがあります）多くの募金は身近な地域でじぶんの町を良くしようとする活動に使われています。詳しい使いみちは全てWebにてご覧になれます。（データベース「はねっと」でご覧ください。www.akahane.or.jp/hanetto/）

共同募金運動には、全国で200万人といわれるボランティアの皆さんが関わっています。全国各地で、自治会・町内会、民生児童委員、企業や学校関係者などたくさんの方々のやさしさが共同募金を支えています。

また、各都道府県には、集められた募金の助成先や金額の決定を適正に行うために「配分委員会」が設置されています。市町では共同募金委員会に運営委員会（審査委員会）が設置されており、それぞれの市町の募金や助成に関係することを決めています。



みなさんへの 感謝のメッセージ

みなさんから寄せられた募金は、社会福祉協議会や福祉ボランティア団体等が行っている「じぶんのまちを良くする」活動に役立てられています。
助成を受けた団体からみなさんへの感謝のメッセージが届いています！



安心・安全なまちづくり



【支援プロジェクト】DV被害者の相談やシミュラー活動



障がい者を応援する活動



【支援プロジェクト】校舎施設の整備



子育てを応援する活動



【支援プロジェクト】長期入居の子ども達に笑顔を



災害時の支援



【支援プロジェクト】災害支援ボランティア活動支援



仲間がいると
勇気が湧きます

認知症のひとと家族の会

広報誌に掲載された介護家族の体験記は、多くの介護家族に介護への意欲を高め、介護家族を支えています。

「自分だけがなぜこんなに苦しまなければならないの」と考えていたが、会報を読み「自分だけではない。仲間がいるのだ」と勇気がわいてきたという声が寄せられています。

介護体験記は、雑誌や書籍、新聞、テレビ等でも紹介されていますが、遠くの方の体験記より、県内の身近な方の体験記は、読む人に多くの感動を与えているのではないかと思います。「認知症 聞いてほしい 聞かせてほしい 仲間がほしい」というのは、介護家族の切なる声です。このような声に県支部の広報誌が少しでも応えられるように会報発行が継続できるよう努めております。会報発行について共同募金会様から今年度も助成をして頂くことが出来、継続させることが出来ました。大変ありがたく感謝しております。このことを会員全てに理解して頂きたいと思い、県支部総会時に募金箱を設置して参加者に感謝のしるしとしての募金を呼びかけています。



子ども達に家族を体験
してほしい。
星の子の集い事業での
思い出づくり

福井県里親会

福井県に5つの児童養護施設と二つの乳児院があり、施設では家族と一緒に暮らせない子どもたちが生活しています。その理由は親が病气だったり経済的に苦しかったり、虐待を受けていたり子どもたち一人ひとり違います。

そのような境遇の子どもたちに温かい家族・家庭を体験してもらおうと星の子の集いを実施しています。今では子どもたちだけではなく施設の職員さんなど関係機関の方にも来ていただき、子どもを見守る大人たちの交流の場ともなっています。日頃、子ども達と接する苦労や喜びを話し、共有し今後の活動へとつなげています。

皆さんの援助により、子どもたちや支援者がつながりを持つことができます。本当にありがとうございます。



1分1秒を争う
『いのち』を
つなぐために。

特定非営利活動法人 命のバトン

私たちはAEDを用いた心肺蘇生法の講習会を通じ、1人でも多くの市民がAEDを何の抵抗もなく使えるようになるよう月一回の定期講習会を開催しております。

多くの市民から集められた善意の浄財を使わせていただくことに対し、重い責任と深い感謝の念を痛切に感じております。NPO法人となつてまだ10ヶ月足らずですが、お陰様で多くの講習会活動の機会を与えて頂きました。

今後とも、心肺蘇生法およびAEDの使い方の普及啓発と併せて、命をつなぐ心を育てる社会づくりを目指して、精進して参りたいと存じておりますので、今後ともご支援の程よろしく願います。この度は、本当にありがとうございます。

問合せ先

(福) 福井県共同募金会
〒910-0026 福井市光陽 2-3-22
TEL 0776-22-1657
FAX 0776-22-3093
URL <http://akaihane-fukui.jp>

平成二十二年 福井県社会福祉協議会長表彰受賞

平成22年9月23日（木・祝）、フェニックス・プラザにおいて開催された第57回福井県社会福祉大会において福井県の福祉向上に功績のあった民生委員児童委員、福祉施設、社会福祉団体、社会福祉協議会の役員、ボランティア、福祉協力校など四〇〇名に福井県社会福祉協議会長表彰が授与されました。

民生委員児童委員功労表彰（125名）

福井市	兼子 英男	福井市	村尾 智寿
	吉田 優		村上 静子
	大黒 裕實		角 亦慎一
	谷上 尉知		酒井 賢一
	阿部 義男		鈴木 弘子
	竹内 清隆		中島 和子
	山崎 豊		森山 京治
	西田 誠八		吉永 花子
	橋本 昭文		荒井 實雄
	朝倉 友江		黒田 栄治
	松嶋 澄子		岸田 栄二
	三崎 裕二		水元 一彰
	泉畑 ゆき江		友田 茂子
	松田 義規		藤井 利一
	西本 眞澄		松尾 春濤
	加畑 喜太夫		大正 清昭
	原嶋 榮一		林 豊
	本多 修三		増永 豊

福井市	道端 利枝子	小澤 千代子	北野 征義	宮前 清美	前川 忠博	世継 秀子	竹内 壽代	赤崎 恵美子	古谷 真知子	中尾 裕子	正津 みちゑ	島口 美代子	鈴木 信子	山本 久榮	森永 美登志	川田 善子	北村 智見	武内 正澄	西内 二郎	瀨川 順男	鈴木 庄治	稲郷 榮一	原公 子	中森 紀子	新井 峯子	帰山 良子	天立 宣子	竹内 美智子	谷口 美笑子	久保 恵美子	
大野市																															
小浜市																															
坂井市	中村 隆篤	西村 悦郎	村井 英之	島田 よし美	納村 亮	平野 千代美	竹島 隆一	二俣 敏行	藤田 貴美江	諏訪 大明	宗近 惣助	増田 長栄	福島 章良	岸本 森男	永坂 重几	師田 忠子	坂下 千恵子	前田 三知子	大久保 多美子	増澤 恵美子	長谷川 八恵美	井上 紀久子	中川 千恵子	小泉 義廣	黒川 ふさ子	佐藤 早智子	高山 登代子	伊藤 幸子	松田 誓也	水上 秀一	
越前市																															
あわら市																															
坂井市	木本 宏子	田崎 澄子	柴田 秀子	小林 ムツミ	青山 比佐男	金谷 知美	辻 恵美子	多田 文樹	吉田 由美	南川 直人	富田 昇	中村 幹夫	砂村 洋子	村田 満	竹澤 マサ子	出口 春代	酒井 正雄	赤澤 和子	笛吹 静子	清水 瑠璃子	高岡 孝	橋本 つる	嘉奈 宏	山内 昭子	高田 久代子	林 和枝	林 やよい	小林 榮	川口 慶子		
永平寺町																															
南越前町																															
越前町																															
高浜町																															
おおい町																															

社会福祉施設功労表彰 (91名)

福井市

- 山本 加代子 あさくらデイサービスセンター
- 山下 三枝子 あさくらデイサービスセンター
- 廣田 キミ子 あさくら苑介護支援事業所
- 久保田 美鈴 愛全園
- 小林 史武 足羽学園
- 上野 博史 足羽更生園
- 岡崎 ゆかり 足羽更生園
- 嶋田 嘉浩 足羽更生園
- 中村 隆海 足羽更生園
- 田川 香織 足羽ワークセンター
- 島田 照二 コミュニティネットワークふくい
- 坂崎 公則 コミュニティネットワークふくい
- 山田 圭子 コミュニティネットワークふくい
- 大宮 富士子 コミュニティネットワークふくい
- 山田 忠司 コミュニティネットワークふくい
- 野村 知恵 コミュニティネットワークふくい
- 谷上 和代 高雄苑
- 梅田 克之 福井県美山荘
- 萩坂 美喜子 福井県美山荘
- 小林 芳枝 福井市ふれ愛園
- 山田 千秋 福井市ふれ愛園
- 唐杉 里己 福井市ふれ愛園
- 武田 清恵 福井市ふれ愛園
- 大江 ひとみ 福井市ふれ愛園
- 安井 美由紀 福井市ふれ愛園
- 酒井 陽子 白梅学園
- 徳永 真利子 白梅学園
- 宮川 誠二 若狭ハイツ
- 原 浩子 若狭ハイツ

敦賀市

小浜市

小浜市

大野市

勝山市

鯖江市

- 藤本 真由美 若狭ハイツ
- 藤本 春美 若狭ハイツ
- 早川 初美 若狭ハイツ
- 栗原 直美 若狭ハイツ
- 辻 貴浩 若狭ハイツ
- 藤田 幸子 若狭ハイツ
- 森口 幸夫 南川福祉学園
- 大谷 玲子 友愛園
- 内田 善子 友愛園
- 山内 由美子 大野荘
- 吉田 和美 大野荘
- 加藤 純江 むつみ園
- 西川 一栄 大野荘
- 永田 正一 大野和光園
- 小林 さなえ 大野和光園
- 出村 真由美 大野和光園
- 石田 さゆり 大野和光園
- 浦井 喜代美 大野和光園
- 木下 冷子 九頭竜さかえホーム
- 岩倉 久子 九頭竜ワークショップしずかの郷
- 上出 真里子 九頭竜ワークショップしずかの郷
- 中川 美千代 九頭竜ワークショップしずかの郷
- 向林 明美 九頭竜ワークショップしずかの郷
- 森岡 優子 九頭竜ワークショップしずかの郷
- 岩岡 一利 九頭竜ワークショップ授産部
- 林 義信 九頭竜ワークショップ授産部
- 竹原 健治 九頭竜ワークショップ第二授産部
- 向原 晶一 九頭竜ワークショップ第二授産部
- 平山 清美 九頭竜ワークショップ七瀬の郷
- 水野 理香 五岳園
- 吉田 孝子 福授園神中事業所

鯖江市

越前市

坂井市

永平寺町

南越前町

越前町

おおい町

- 平野 美可 吉江学園
- 榮 晃彦 ライトレーニングセンター
- 辻 里昭 陽光会
- 柴田 義則 陽光会
- 大森 美奈子 福井県若越みどりの村
- 内山 恵理子 デイサービスセンターわかたけ
- 中村 智美 和上苑
- 坪田 とし子 長寿園
- 吉田 ミナ子 長寿園
- 川寄 郁子 デイサービスセンターあじさい園
- 中川 晶展 永平寺ハウス
- 山口 百合子 永平寺ハウス
- 前田 美栄子 永平寺ハウス
- 山下 礼子 永平寺ハウス
- 川 緒毛 登子 永平寺ハウス
- 大久保 さよえ 永平寺ハウス
- 吉岡 幸枝 永平寺ハウス
- 黒田 絹江 永平寺ハウス
- 小林 とみ子 永平寺ハウス
- 河邊 しず子 永平寺ハウス
- 村田 浪子 ほのぼの苑
- 田中 絹子 ほのぼの苑
- 三上 眞理子 第一光が丘ハウス
- 竹内 あゆみ 第三光が丘ハウス
- 織田 三枝 ライトホープセンター
- 土井 浩 光が丘ワークセンター
- 谷口 栄美子 ライトホープセンター
- 岡田 弘美 ライトホープセンター
- 盛本 和代 楊梅苑
- 滝口 照美 楊梅苑
- 池上 卓児 楊梅苑

社会福祉施設功労表彰（保育）（44名）

- | | |
|------|----------------|
| 福井市 | 平林 千佳子 若草保育園 |
| | 小林 淳子 若草保育園 |
| | 柿原 美江 さくらんぼ保育園 |
| | 松井 みゆき 竹里保育園 |
| | 谷本 千穂 西藤島保育園 |
| | 平川 昌美 西藤島保育園 |
| 鯖江市 | 宮口 綾子 いざみ保育園 |
| | 和田 陽子 かわだ保育園 |
| | 森友 万貴 立待保育園 |
| 越前市 | 飯塚 雅代 国高保育園 |
| | 飯田 一枝 南保育園 |
| | 笠川 律子 国高保育園 |
| | 伊藤 久美子 北新庄保育園 |
| | 為沢 博子 なかよし保育園 |
| | 竹本 美枝子 安養寺保育園 |
| | 青山 弘恵 たんぼぼ保育園 |
| | 笠島 美幸 岡本保育園 |
| | 飯田 法代 花筐保育園 |
| | 山口 里美 たんぼぼ保育園 |
| | 田中 優香 愛星保育園 |
| | 北川 三幸 花筐保育園 |
| | 林 眞里子 花筐保育園 |
| | 福田 明美 岡本保育園 |
| | 嶋田 香織 安養寺保育園 |
| | 田中 清美 神山保育園 |
| | 中澤 ゆかり わかたけ保育園 |
| | 赤田 明美 愛星保育園 |
| | 渡辺 ひとみ 花筐保育園 |
| | 小形 佐智子 南中山保育園 |
| 永平寺町 | 大塚 あけみ 松岡東幼児園 |

社協・民間団体功労表彰（48名）

- | | |
|------|--------------------|
| 永平寺町 | 田原 喜代美 上志比幼児園 |
| 南越前町 | 齋藤 恵子 上志比幼児園 |
| | 小林 郁子 湯尾保育所 |
| | 新谷 京子 河野保育園 |
| | 尾崎 政代 南条保育所 |
| | 壁下 美里 河野保育園 |
| | 山本 真由美 南条第二保育所 |
| | 今村 和美 南条保育所 |
| | 今村 まり子 南条保育所 |
| | 宮下 和美 南条第二保育所 |
| | 道幸 順子 河野保育園 |
| 越前町 | 上田 憲子 西徳寺保育園 |
| | 北瀬 真弓 西徳寺保育園 |
| | 小荒 繁美 朝日中央保育所 |
| 福井市 | 井上 智恵子 福井市婦人福祉協議会 |
| | 桑野 博子 福井市婦人福祉協議会 |
| | 広瀬 幸子 福井市健康づくり婦人会 |
| | 竹澤 靖子 福井市遺族連合会 |
| | 長家 和代 清明地区社会福祉協議会 |
| | 瀬戸 百合子 宝永地区社会福祉協議会 |
| | 宮浦 知恵子 酒生地区社会福祉協議会 |
| | 前川 捨廣 宝永地区社会福祉協議会 |
| | 岩田 栄子 粟地区社会福祉協議会 |
| | 石田 英美子 酒生地区社会福祉協議会 |
| | 村中 勝士 福井市社会福祉協議会 |
| | 中田 欽也 西藤島地区社会福祉協議会 |
| | 虎尾 宜治 足羽地区社会福祉協議会 |
| | 谷口 昇治郎 国見地区社会福祉協議会 |
| | 山下 猛志 湊地区社会福祉協議会 |
| | 上出 喜美枝 松本地区社会福祉協議会 |

- | | |
|------|----------------------|
| 福井市 | 高田 勝之 福井県社会福祉協議会 |
| 敦賀市 | 坂本 幸夫 北地区社会福祉協議会 |
| | 森田 一昭 北地区社会福祉協議会 |
| | 大和田 晴美 西地区社会福祉協議会 |
| | 水口 和美 敦賀市社会福祉協議会 |
| 勝山市 | 長谷川 美貴 勝山市社会福祉協議会 |
| 鯖江市 | 高橋 ハルミ 福井県地域活動連絡協議会 |
| あわら市 | 野田 喜一 あわら市社会福祉協議会 |
| | 八木 悦子 あわら市社会福祉協議会 |
| | 達川 陽子 あわら市社会福祉協議会 |
| | 清水 照美 あわら市社会福祉協議会 |
| 越前市 | 土田 房子 越前市社会福祉協議会 |
| | 林 久子 越前市社会福祉協議会 |
| | 錦古里 るり 越前市社会福祉協議会 |
| | 酒井 久美子 越前市社会福祉協議会 |
| | 棟田 忠明 身障者友の会いまだて |
| | 為永 憲誓 身障者友の会いまだて |
| | 寺尾 憲子 越前市つくし会 |
| | 高田 操 越前市つくし会 |
| | 彌氏 文子 越前市遺族連合会 |
| | 細井 美奈子 越前市赤十字奉仕団今五分団 |
| | 谷口 洋子 越前市赤十字奉仕団大虫分団 |
| 坂井市 | 半田 とみ子 坂井市社会福祉協議会 |
| | 岩田 等 九岡福祉会 |
| | 加納 倫哉 九岡福祉会 |
| 永平寺町 | 酒井 正人 永平寺町社会福祉協議会 |
| | 竹澤 香 永平寺町社会福祉協議会 |
| | 南部 信恵 永平寺町社会福祉協議会 |
| | 前田 直美 永平寺町社会福祉協議会 |
| | 小林 政広 永平寺町社会福祉協議会 |
| 南越前町 | 吉野 麻奈美 南越前町社会福祉協議会 |
| 高浜町 | 岡本 秀敏 高浜町社会福祉協議会 |

永年勤続功労表彰(27名)

福井市	山本 武生	あさくら苑
	上野 三枝子	あさくら苑
	竹澤 廣美	グループホームあさくら
	宇野 久仁子	あさくら介護支援事業所
	今西 鈴枝	山翠苑
	竹原 フミコ	山翠苑
	池端 順子	山翠苑
	水島 尚子	山翠苑
	下牧 悦子	山翠苑
小川 桂子	福井市ふれ愛園	
大村 美千代	福井市ふれ愛園	
上山 由美	福井市ふれ愛園	
水上 智恵子	福井市ふれあい公社	
豊永 真誠	小浜市社会福祉協議会	
村松 寛繁	やすらぎの郷	
竹内 千代	五岳園	
山崎 としき	五岳園	
藤田 裕子	春江東保育所	
柳原 巳栄子	春江北保育所	
向川 桂子	春江子育て支援センター	
横田 洋子	春江中保育所	
小畔 由美子	春江北保育所	
谷川 美智子	ほのぼの苑	
奥村 清栄	ほのぼの苑	
高橋 禮子	ほのぼの苑	
澁谷 よう子	ほのぼの苑	
越井 美幸	ほのぼの苑	

優良社会福祉協議会表彰(2団体)

福井市 一光地区社会福祉協議会
酒生地区社会福祉協議会

優良ボランティア(グループ)表彰(27団体)

福井市	民謡つつじ会
	ひだまり歌謡会
	ポップカルチャー
敦賀市	栄光グループ
大野市	精神保健ボランティアはづき会
鯖江市	中河でのひらサークル
	みらい子育てネットふくい福井県地域活動連絡協議会
坂井市	2の部福祉のつどい
	三乃部福祉の会
	木部福祉の会
	手話サークルたけくらべ
	音訳ボランティアすずしろの会
	米っこサロン
	福祉の会すこやか
	安島あすなろ会
	陣ヶ岡福祉推進協議会
永平寺町	ボランティアサークルまっぼっくりKids
	おたっしや会
	このゆびとーまれ
南越前町	河野地区婦人福祉協議会
越前町	越前町美容師組合
	樫津馬清水ふれあいサロン
	玉川ボランティア
	あさがお会
	糸生クラブ
	杉の木グループ

優良ボランティア(個人)表彰(34名)

高浜町	ことのねグループ	
小浜市	成瀬 りえ子	鯖江市青木啓子
勝山市	福田 佳世	堀 貞子
	久永 与志男	あわら市濱田礼子
	鰐淵 洋子	林 美穂子
	三屋 千ヨエ	小阪 和江
	乾 美智子	桜井 多恵子
	山田 絹子	大宮 富士子
	本多 清子	新屋 君枝
	白崎 忍つ子	河村 みゆき
	森 洋子	越前市吉川幸江
鯖江市	前田 和子	畠中 一枝
	山内 信子	高坂 千代子
	吉田 裕子	坂井市松浦歌代子
	金崎 信子	高森 エミ子
	福岡 ゆき	宮尾 節子
	福岡 道代	山内 芙美子
	稲葉 弥寿	南口 紀美子

優良ボランティア(協力校)表彰(1校)

あわら市 あわら市立北潟小学校

社会福祉事業協助者(感謝)(1団体)

福井市 福井県生命保険協会

(敬称略)

受賞者の皆様
おめでとうございました。

福祉の現場のつよぐい味方 キャリア支援専門員の活動

私たち、キャリア支援専門員は、国の「福祉・介護人材の緊急的な確保を図る措置」として21年度から取り組んでいる福祉・介護人材マッチング支援事業を担うエキスパートとして、活動しています。私たちの活動は福祉・介護職を目指す求職者にふさわしい職場の開拓とともに、事業所に対しては、働きやすい職場づくりに向けた指導・助言を行いながら、円滑な就労・定着を支援することを目的にしています。



写真 前列 左から村田、小林、関戸専門員
後列 左から眞家専門員、岩田主任（事業担当）

キャリア支援専門員の活動内容

① 事業所への訪問

働きやすい職場づくりができるよう、人材育成や労働環境などの相談に応じ、採用・定着に向けた職場つ

くりの支援を行っています。

平成23年度末までに県内500ヶ所の事業所を訪問を目標に、求人状況、離職者状況、雇用の実態、内部研修の実施状況、求職者への要望（例：雇う条件）等々について聞き取り調査を行います。

② 移動相談会の開催

福祉・介護分野への就職を希望する求職者に対し、現状を伝え、総合的な相談、職業紹介等の支援を行っています。

身近な地域で移動相談会を行っています。

◆越前市（毎週火曜）／勝山市（月2回木曜）／小浜市（月2回木曜）／坂井市（月2回水曜）
※いずれも午後1時から4時まで

③ 相談窓口の開設

求職者および福祉・介護職従事者の悩み等に関する相談への対応、また事業所の人材確保についての相談への対応（来所および電話）を行っています。

福祉人材センター内に常設の相談窓口を開設しています。

④ 潜在有資格者の調査

福祉・介護関連の潜在有資格者の状況を把握し、福祉・介護分野への就業への働きかけを行っています。

⑤ そのほかの活動

学校訪問説明会、福祉就職面談会

のほか、各講座での福祉・介護の現状説明や福祉・介護の仕事の周知を図っています。

4月～8月までの活動実績

月	新規登録者数	施設訪問件数	相談者数	
			移動相談	相談窓口
4月	60	17	29	9
5月	38	14	9	5
6月	24	24	50	3
7月	12	23	27	4
8月	12	19	36	1

活動しながら キャリア支援専門員のつよぐい

私たちは、求職者の方々に、人材センターへ求職者登録をしていただいた後、職業相談、求人紹介、資格取得やキャリアアップ等の相談を受け、指導・助言を行います。

さらに、求人側の事業所に対し、募集や雇用の状況についてのお話を伺いながら、人材の紹介、コンピューターシステムへの求人情報の掲載、人材定着等について適宜アドバイスをさせて頂いています。

またキャリア支援専門員の仕事のひとつに「移動相談会」があり、就

業前支援、職業相談・紹介、就労支援、就職後の相談等行っていますが、実に様々な思い、経験をお持ちの方々がお見えになります。そのため、施設・事業所の役割、仕事をする意味をしっかりとお伝えすることを大切にしています。

さらに、福祉施設や事業所の役割が多岐に渡り、より高い専門性が求められるようになってきており、求職者の方々を社会福祉分野でどのように受入れていくかも大きな課題になっています。

私たちが県内の事業所への訪問・指導を行ってきた中で、施設側にも共通した思いがあるとわかりました。それは、「雇用する条件で一番重要視していることは、利用者の方々に対する姿勢と組織人としての人柄がどうかであるかに尽きる。」というものでした。

福祉とは、暮らしの中に安心感のある環境を創ることと、優しさに溢れた人と人とのつながりを築きあげることであり、この点ではまさに人類の「文化の象徴」です。

これからも福井県内の施設・事業所に伺い、人材確保についての状況をお尋ねしながら、福祉・介護の職を目指す求職者の皆さんとの架け橋になれるようがんばっていききたいと思えます。

寄 贈

福井県生命保険協会様
エコキャップ 170, 960個

ボランティア月間制定20周年記念事業『つなぐれボランティアの輪』推進運動「エコキャップアートイベント」に使用するペットボトルキャップ(エコキャップ)の収集を呼び掛けたところ、生命保険協会に加盟する県内18社の生命保険会社よりたくさんのエコキャップを寄贈いただきました。



いただいたエコキャップは、エコキャップアートで使用され、イベント終了後は、「ふくいエコキャップ運動」に寄付し、発展途上国の子どものワクチン購入に充てられます。

ランティー活躍中!

9月20日(月・祝) 福井フェニックススタジアムにランティー登場 かわいく始球式をつとめる!

とっても緊張したけど、会場みんなから声援をもらい、頑張って投げました!



「ボランティアのことを県民の皆さんに知っていただく」という使命を果たすため、活躍中のランティー、あなたのまちに参上するかもしれません。これからもランティーを見かけたら、かわいがってくださいね!

福井県福祉人材センターからのお知らせ

福祉・介護人材マッチング支援事業 ～アドバイザー派遣事業～

人材の確保や人材定着、職員の処遇向上、福利厚生の充実などのご相談に、より専門的なアドバイスをさせていただくため、専門家を派遣しております。相談は無料ですので、キャリア支援専門員までお気軽にご相談ください。

派遣する専門家たち

公認会計士、弁護士、税理士、社会保険労務士、中小企業診断士等

福祉のお仕事 移動相談会

事前申込不要・無料相談

キャリア支援専門員があなたの近くに伺います!

- 丹南地区** 毎週火曜日 武生西公民館・別館
越前市中央2-8-16 (ハローワーク武生南側)
- 坂井地区** 第2・4水曜日 三国社会福祉センター1階
坂井市三国町中央1-6-3 (ハローワーク三国近く)
- 奥越地区** 第1・3木曜日 奥越地域地産産センター1階
勝山市片瀬1-402 (地域職業相談所 同所)
- 若狭地区** 第2・4木曜日 小浜地方合同庁舎4階
小浜市後瀬町7-10 (ハローワーク小浜と同所)

相談時間：各会場とも13:00～16:00

※上記の他に敦賀市総合福祉センターあいあいプラザ(敦賀市東洋町4-1)でも実施します。(不定期)

問合せ先 福井県福祉人材センター
福井市光陽2-3-22 TEL0776-21-2294

福井のまちを良くする会議 第7回 赤い羽根パートナーミーティング

共同募金の寄付者や助成団体、関係者が集い、さまざまな社会課題を解決していくにはどうしたら良いか話し合いを持ちます。
どなたでも参加できますので気軽にお越し下さい。



- 日時：2010年10月19日(火)
13:30～16:30(受付開始13:00)
- 場所：サンドーム福井・小ホール(福井県越前市瓜生町5-1-1)
- 当日の講師・コーディネーター
演題 「寄付者の心をつかむ募金とは？」
講師 社会福祉法人大阪ボランティア協会
常務理事 早瀬 昇 氏
- 参加費：無料(募金は喜んで受付けます)
- 問合せ先：福井県共同募金会
TEL:0776-22-1657 FAX:0776-22-3093

10月の行事予定

- 1日(金) 共同募金運動開始式(JR福井駅前)
- 3日(日) 「福井マラソン」
赤い羽根チャリティーラン(運動公園)
- 4日(月) 保育部会委員会(アオッサ)
- 7日(木) ふくしジョブフェア in 奥越(大野市)
- 9日(土) ねんりんピック石川大会(～12日)
- 10日(日) 県身体障害者福祉大会(自治会館)
- 12日(火) 福井県人材センター運営委員会
- 21日(木) 県老人クラブ大会(鯖江市)
- 24日(日) 介護支援専門員実務研修受講試験(県立大)
- 26日(火) 生活福祉資金市町担当協議会

スマイル

未来に笑顔

Vol.3 やさしい笑顔で、利用者に寄り添うしっかり者



プロフィール

まさき やすこ
正木 康子さん

(福)友愛会 障害者支援施設やすらぎの郷
支援員 10年目。しっかりと目標を持ち、やさしい笑顔で仕事に取り組むしっかり者。

このコーナーでは、「笑顔（スマイル）」をキーワードに福祉職の方々に登場いただき、福祉の現場で活躍しているからこそ『見える』『言える』、福祉の魅力について語っていただきます。

あっという間の十年…

今思えば、転職当時知人から、「あなたに福祉なんて、出来るの」と言われましたが、「とにかくやってみよう…」と福祉の世界に飛び込みました。

最初の頃は、何の知識もないため自分の意見や思いを先輩や同僚にうまく伝えられなかったり、利用者の方の「思い」をうまく受けとめることができないなど、いろんなことで悩み、一日がとてもしも長く感じられる日もありました。

しかし、持ち前の負けず嫌いの性格も手伝って、「職場に行きたくない」「辞めたい」と思ったことは一度もありませんでした。自分の思いや考えを素直に先輩や同僚に話し、意見を交換することで、仕事も楽しくなり、気づけば、十年目になっていました。



今も忘れない利用者の笑顔

利用者の中には、言語や感情を上手く表せない方もいます。その当時担当していた利用者Aさんも言葉が少なく、表情もあまり出さない方でした。その後、Aさんは、別の施設に移られたのですが、

久々にAさんにお会いした瞬間、私の顔を見て「はっはっはっ」と笑ってくれたのです。離れていても、私のことを覚えていてくれたこともうれしかったのですが、何よりAさんの笑顔を見ることが、私にとってはスペシャルな瞬間でした。

利用者の立場に立つことを第一に更なるスキルアップ

この十年間で多くの勉強や経験をさせていただきました。これからも、今まで積み重ねてきた経験や知識に驕ることなく、常に「利用者の立場に立つ」ことを忘れずに、利用者の方と向き合い、また利用者さんされている方の気持ちに寄り添える、職員になれるようスキルを磨いていきたいです。

また、この十年で自分の業務内容や自身の状態の管理に努めるようになりました。頑張りすぎで疲れた心と体では、利用者の方ときちんと接することが出来ません。良い仕事を続けていくためにも「頑張り過ぎない」よう心がけています。

笑顔の素

息子 快くんです！

子供を授かり、仕事と育児の両立で、とても忙しくなりましたが、家に帰って息子の顔を見ると、仕事の疲れもどこかに飛んでいってしまいます。私にとって

は、息子との時間が最高のリラックスタイムです。

また、子供との時間を大切にしたいので、自然に仕事の段取りを考えるようになり、以前より効率よく仕事ができるようになった気がします。



今では「ママ、泊まり？」いつてらっしゃい」など声をかけてくれるなど、彼は、私の心強い応援団であり、まさに笑顔の素になっています。

インタビューを終えて

お子さんや利用者の話をされているときの柔らかさで、やさしい笑顔がとっても印象的でした。この笑顔がいろんな人の心を温かくしているのかもしれない。

